



本田付近を流れる蓼川（ここには館川橋とある）



礫付近を流れる用水、おもしぼり

が、太治エ門堰の〇・八九九 $\frac{9}{10}$ は北会津村管内には揚げられてこない。しかし本郷堰とは一部併用されるので、両堰下あわせて一四八・五ヘクタールに達している。

この他先の濁川よりの下郷堰が二六ヘクタールに対して〇・二五 $\frac{5}{10}$ の揚水をするし、宮川よりの荒川堰・下野堰・宮袋堰・新田堰・大島堰は俗に三堰と呼んでいて、四八ヘクタールに対して〇・三 $\frac{3}{10}$ の揚水をしている。

この他蓼川の湧水は一・二〇〇 $\frac{0}{10}$ に達して、一一八・〇ヘクタールに灌漑し、つづいて白山沼が〇・八〇〇 $\frac{0}{10}$ あり、一〇七・九ヘクタールへ、西麻生の湧水はやや細くなったが、〇・二七〇 $\frac{0}{10}$ で三八・〇ヘクタールの用水となっている。さらに扇状地の下部には伏流水があるので、揚水機を利用して汲みあげている。次にそれを一覽にして掲げ、用水系統を示しておく。

### 三、農業用水の現況と今後の利用計画